

製品名: MLL ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13959**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	MLL ALL1 CXXC7 HRX HTRX KMT2A MLL1 TRX1
別名	Histone-lysine N-methyltransferase MLL (EC 2.1.1.43;ALL-1;CXXC-type zinc finger protein 7;Lysine N-methyltransferase 2A;KMT2A;Trithorax-like protein;Zinc finger protein HRX) [Cleaved into: MLL cleavage product N320 (N-terminal cleavage product of 320 kDa;p320); MLL cleavage product C180 (C-terminal cleavage product of 180 kDa;p180)]
遺伝子 ID	4297.0
SwissProt ID	Q03164
免疫原	アミノ酸配列範囲: 3850~3900 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

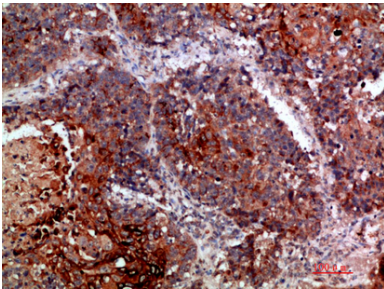
背景

この遺伝子は、初期発生および造血における遺伝子発現の制御に重要な役割を果たす転写共役因子をコードしています。コードされているタンパク質は、複数の保存された機能ドメインを含んでいます。これらのドメインの1つであるSETドメインは、ヒストンH3リジン4 (H3K4) メチルトランスフェラーゼ活性を担い、エピジェネティックな転写活性化に関連するクロマチン修飾を媒介します。このタンパク質は、酵素 Taspase 1 によって MLL-C と MLL-N の2つの断片に分解されます。これらの断片は再会合し、さらに異なる多タンパク質複合体へと組み立てられ、多くの HOX 遺伝子を含む特定の標的遺伝子の転写を制御します。この遺伝子が関与する多重染色体転座は、特定の急性リンパ性白血病および急性骨髄性白血病の原因となります。代替スプライシングにより、複数の転写産物変異体が生じる。[RefS 提供]触媒活性:S-アデノシル-L-メチオニン + ヒストン L-リジン = S-アデノシル-L-ホモシステイン + ヒストン N(6)-メチル-L-リジン。、類似性:1つのSET後ドメインを含む。、類似性:1つのSETドメインを含む。、

研究分野

アポトーシス

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された